

複数チーム参加に関する規定

【趣旨】

本リーグは、多くの加盟登録選手が、各自の能力に応じたレベルで行われる公式試合に出場する機会を保障することが大きな目的である。ところが、年間の成績が次年度の所属リーグに影響を及ぼすこともあり、複数チームにおいては、出場選手を工作することで、リーグ戦本来の趣旨に反する行為が起こりかねない。

具体的には、リーグ戦後半において、本来、トップチーム（以下、Aチーム）で出場すべき選手がセカンドチーム（以下、Bチーム）の試合に多数出場し、逆に、Aチームの試合にBレベルの選手が出場するということである。この場合、Aチームは大差で負けるが、Bチームは大差で勝利することが予想される。そしてその結果、Bチームが上位リーグに昇格するという場合を考えていただきたい。このように、複数のチームを登録したチームが、昇格・残留という次元で選手の起用考え始めると、本来のリーグ戦の趣旨を逸脱しかねない事象が生じる不安がある。

そこで、以下のような規定を設けた。この規定は、能力の高い選手の出場機会をAチームの試合に限定する一方、その他の選手はA、B等全ての試合に出場することを可能とするものである。

後述する「Aチーム選手登録名簿」は、Aチームの試合にしか出場できない選手を11名限定するものである。

【本文】

標記大会に複数チームを編成して参加する場合は下記の点に留意すること。

ここでは便宜上、上位リーグに属するチームをA、下位リーグに属するチームをBと称することとする。

1. チームBの監督は、チームAの監督とは異なること。なお、Bチームの監督は、スタッフとしてAチームのベンチに入ることを認める。その逆も認める。
2. チームA、Bで異なるユニホームを用いることは差し支えないが、原則として、ビブス等をユニホームとして代用することは認めない。やむを得ない状況が生じた場合、リーグ戦事務局に申し出ること。
3. チームA、Bが同時に【1部】に属することは認めない。また、【2部】【3部】についても同様とする。支部リーグに関しては特に規定を設けない。
4. 入れ替え戦や昇格・降格によって、上記3.のような状況が生じる場合、リーグ戦事務局は、順位を繰り下げる（繰り上げる）等の措置をとるなどして適切に対応をする。
5. 「Aチーム選手登録名簿」に登録された選手は、チームA以外の試合には出場できない。
6. 複数チームを3チーム編成する場合、同様に「Bチーム選手登録名簿」を作成する。「Bチーム選手登録名簿」に登録された選手は、AまたはBチームの試合に出場できるが、C以下の試合には出場できない。
7. 複数チームを3チーム以上編成する場合、上記BをC、D、…と読み替えて対応する。
8. 前期・後期で選手のメンバー変更は可能である。なお、2018-19 入替戦及び昇格戦については、2018 リーグの後期プロテクトメンバーを適用する。